

東京都教育委員会（所在地：東京都）

事業名

学校卒業後における障害者のインクルーシブな「学び」支援コンソーシアム

事業の趣旨・目的

- ・ NPOや企業、大学等のテーマ型コミュニティとの連携・協働を進め、従来の障害者の生涯学習に係る施策枠組みから脱却を図る。
- ・ アートや文化、スポーツといった分野等にもネットワークを広げ、学校卒業後の障害者のインクルーシブな学びの機会を創出する。

事業実施体制・連携先

- （ ）内はコンソーシアムコアメンバー
- ・ NPO法人ピープルデザイン研究所（代表理事：田中 真宏 氏）
 - ・ 社会福祉法人愛成会（副理事長：小林 瑞恵 氏、法人企画事業部次長：松山 恭子 氏）
 - ・ 認定NPO法人ハズオン（事務局長：加地 はるみ 氏）
 - ・ 株式会社FVP（代表取締役：大塚 由紀子 氏）（ほか）

事業内容

- ・ 関係機関の参画による地域コンソーシアムの形成
NPOや企業等に参加を呼びかけコンソーシアムを形成した。また、様々な活動分野にネットワークを広げ、コンソーシアムのコアメンバーを選定した。
- ・ 障害者の学びのニーズを踏まえた講座内容・実施方法、合理的配慮を含む必要な支援コアメンバーによる会議において、今後の東京都の障害者の生涯学習支援に必要な視点や留意点等の課題を洗い出した。さらに、障害の有無にかかわらず参加できる講座の在り方や合理的配慮の事例等について意見を交わした。
- ・ 障害者の学びを支援する人材の育成に資する研修の実施
障害者の創作活動の支援に携わり、インクルーシブなアトリエを運営している団体に所属しているコアメンバーに研修を依頼（タイトルは「障害者とアート～インクルーシブな場づくりとは～」）し、充実したアート活動が可能となる場づくりのポイント等の講義内容を実施した。
- ・ 地域における関係団体・支援者・障害者本人等が参加する共生社会コンファレンスの実施
障害者の生涯学習を進めるために必要な視点について意見交換を行うとともに「障害当事者の声を聞く」ことを軸にシンポジウムを開催した。

今年度の取組状況

- ・ コンソーシアム形成による成果・効果
（行政担当者が）障害者の生涯学習を進めるための基本姿勢を理解でき、また、今後の行政による事業運営の参考（様々な課題への対応と運営形態の在り方等）となった。
- ・ 学びのニーズや合理的配慮を踏まえた支援の検討をしたことによる成果・効果
共生社会コンファレンスにおいて、オンライン配信の画面上に手話による同時通訳を付けたことにより、より多くの障害者等が視聴しやすい環境を整えることができた。
- ・ 障害者の学びを支援する人材の育成に資する研修実施による成果・効果
受講者は講義内容を正確に把握し、アート活動を通じた障害者の支援についての理解が深まり、インクルーシブな社会を考える機会を提供できた。
- ・ 共生社会コンファレンス実施による成果・効果
オンライン配信によって多くの視聴者を獲得（およそ800回の再生回数）し、さらに障害に対する理解や共生社会の理念の大切さが伝わった。

その他研究の詳細など



共生社会
コンファレンス
(YouTubeによる
アーカイブ配信)



とうきょうの地域教育
No.148



共生社会コンファレンスの様子
(手話による同時通訳を実施)



研修会の様子